

定が出現したわけである。また12Zの値からは大気の転倒による鉛直不安定の解消があった事が読み取れる。この日この地方で大気が乾燥していた事から見て、水蒸気が主要な役割を果たしていない事が想像され、このすじ状雲出現のための大気温度成層による効果だけを見積りやすいものになっている。

すじ状雲の以上のような振舞は、ポピュラーな冬季の

ものとは異なり、春から初夏への季節の移り変わりを告げるものといえるのではなかろうか。

文献

浅井富雄, 1976: 大気対流, 気象研究ノート, 128, 76-90.

———, 1981: 雨や降水を伴う大気, 大気力学講座2, 東京大学出版会, 49-63.

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
日本気象学会創立100周年記念式典	昭和57年5月25日	日本気象学会	日本教育会館
昭和57年日本気象学会春季大会	昭和57年5月26日～28日	日本気象学会	日本教育会館
第26回山の気象シンポジウム	昭和57年6月19日		気象庁
第19回理工学における同位元素研究発表会	昭和57年7月5日～7日		国立教育会館
第8回レーザーレーダ(ライダー)シンポジウム	昭和57年7月8日～9日	レーザーレーダ研究会	山王共済会館
第2回水資源に関するシンポジウム	昭和57年8月3日～5日	空気調和・衛生工学会ほか	科学技術館(東京)
Regional Scientific Conference on Tropical Meteorology (熱帯気象学に関する地域科学会議)	昭和57年10月18日～22日		筑波研究交流センター
International conference on the physics, chemistry, and meteorology of precipitation scavenging, dry deposition, and resuspension	1982年11月29日～12月3日	American Meteorological Society et al.	Los Angeles